



「ロータリーでなくても奉仕活動は出来る・・・」と言われたら、どう返事をすれば良いのでしょうか。ロータリーが誕生して100年が経過しました。その間、社会環境は大きく変化、世界が抱える課題も多様化し、それぞれの国の価値観も大きく変化しています。ロータリー自体も、こうした変化にどう対応するのかを問われているのではないのでしょうか。

ロータリーの維持、発展は即ち、会員規模の補充、拡大であり、「会員増強が最大の課題」である事は申すまでもありません。勿論、単なるクラブの「会員増強委員会の課題」ではなく、クラブ全体が、躍起になってこの課題に取り組んでいる事は周知の通りです。未だ、新年度、7月1日付の会員数データが来ていませんが、おそらく、今回の世界同時不況の影響を受け、今年度は、嘗ての期末、期首以上の会員数減少が見られるものと予想されます。勿論、これは当地区に限った事ではありません。世界的な現象となりましょう。

クラブを維持、発展させる為の会員基盤の増強は、個々のクラブのみならず、ロータリー全体の永遠の課題でもあり、その会員基盤の強化に「良薬」がない事も、また、事実です。こうした課題に対して、少し角度を変えて考えてみたいと存じます。

先ず、個々のクラブには「個性」があります。「クラブの規模」についても同様でしょう。100名でも足りないと思えるクラブもあれば、50名で充分と思えるクラブもありましょう。一律、ただ増強ではなく、それぞれのクラブが、最も適当と思われる会員数をクラブ内で協議し、その「クラブ目標」に据えるべきでしょう。その時に、その会員数で、クラブとして奉仕活動に参加ができ、将来に向けて維持、存続が図れるクラブ規模である事が条件でしょう。

あとは長期的な視野に立って、目標達成を考えては如何でしょうか。先ず、現会員の高齢化は避けられません。従って、候補者を若い年齢層にターゲットを絞り、根気よく、継続的なプログラムとして、会員増強を考えましょう。単年度での問題解消は困難との考えです。一度獲得した会員の「退会防止」も大切です。3年末満で退会する人が、毎年、全ての退会者の20%を越えているというデータがあります。この退会者がゼロになれば、ロータリー全体では20%の会員増加となります。

一方、「手続要覧や、ロータリーの綱領を見て入会する人はいない」と言われています。新会員候補者は、どの様な人たち(会員)がそのクラブを構成しているのか・・・が最大の関心事ではないのでしょうか。それぞれのクラブの、現在の会員自身が「そのクラブの個性」を造っていることであり、そのクラブの会員リストが、「新会員獲得の最大のツール」ではないのでしょうか。

勿論、クラブ数が多いことが、会員増強を困難にしているとの意見もあります。確かに、1984-85から1995-96の凡そ10年間に、現在の第2750地区(国内)全体のクラブ数の半数が誕生しました。所謂、拡大バブルに時代です。無作為にクラブを増やしたツケが現在の問題の根源との意見もあると思います。また、現在、世界規模で起きている経済的な不況は新会員獲得を更に困難にしていることも事実でしょう。しかし、ロータリアンに相応しい方は、まだまだ沢山居ることも、そして、その方々がロータリーのこと(存在)を良く知っていないことも事実です。ロータリーの広報にも一工夫要ると思われます。

今年度は、例年に増して、新会員獲得に最も困難な時期に直面していると理解しています。地区会員増強委員会としては、それぞれのクラブが、長期的な視野の下に、個性的なクラブ造りを進めることを支援、結果として、クラブの個性に見合った新会員を獲得できることを期待しています。

## 《地区奉仕プログラム委員会》の今年度は

奉仕プログラム委員会 委員長 中村 孝（東京品川中央RC）



クラブは、4大奉仕をバランス良く効果的に活動する為に、クラブにその一翼を担う常設委員らおとして「奉仕プロジェクト委員会」の設置を推奨しており、また良いクラブの特徴として、地元、国、世界レベルに効果的な奉仕活動をすべきであるとされており、即ち四大奉仕の内、三大奉仕(職業、社会、国際、そしてその三大奉仕に関係する新世代プログラム)の全てを担当するのが奉仕プロジェクト委員会ですが、地区にはクラブに伝え、遅滞無く活動できるよう協力することが目的としております。

今年の地区奉仕プログラム委員会には4部門、11委員会を設け、経験豊かな4名の方に各部門の責任者としてお願いしております。その内容は…、

- 職業奉仕(秋山庸一 部門長)職業倫理の追求は無論のこと、クラブで実施中の小、中、高生の課外授業、職業訓練の活動支援。
- 社会奉仕(勝屋俊夫 部門長)環境、水、健康、識字率等地域問題の活動支援。
- 国際奉仕(小粥定美 部門長)当地区 PBG の水浄化機器支援の継続、世界社会奉仕としての幅広い支援活動、近隣外国の地区クラブとの友愛交流問題、そして韓国 第3650地区とのIA短期交換プログラム等の活動支援。
- 新世代(佐久間崇源 部門長)RIプログラムの従来から引き続き活動している委員会と共にクラブ委員会を支援して頂く。

これから委員会にはベテラン、新進気鋭のロータリー案に委員会をお願いし、年度前に充分なる研修や打ち合わせを実施し、クラブに役立つ地区委員会を目指して準備致したところです。私は今年度、地区委員会の使命として、クラブに「あなたの委員会はクラブにとって一番重要なことはなんですか?それを成すために何が一番問題ですか?」と問いかけております。クラブの皆様も、お互い討論してみてください。クラブと地区の活動に問題があるなら、取り扱う努力をして頂きたい。そして今年度の終わりには、1ツでも2ツでも改善し、クラブ活動が活性化されておれば地区委員会の使命や役割は果たせないのではないかと思います。

最後にRIや地区ガバナーが今年度の活動目標として掲げた強調事項【水、保健と飢餓救済、識字率向上】をクラブの奉仕活動に特段のお取り上げをお願いしたいと存じます。夫々の推進には多種多様な問題もござりますが、クラブ、地区の努力で解決し、実りある一年を皆様と共有したいものと念願致します。

